

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	障害児通所支援事業所あゆみ		
○保護者評価実施期間	R7年9月1日		R7年10月10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	33	(回答者数) 24
○従業者評価実施期間	R8年3月1日		R8年3月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	R8年3月30日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・様々な場所に出かけ、公共の場でのルールを学ぶ機会を作っている。	・季節のイベントなどを行っている場や公共施設などに出かけその場所にあった行動やルールに触れる機会を作っています。 また買い物学習を取り入れたり公共交通機関を利用したり活動の幅が広がっていくようにしています。	・日ごろの活動の中でルールについて学ぶ機会を取り入れ活動に取り込んでいく。 ・多くの利用者が活動に参加できるような職員の調整。
2	・職員の経験を活かし日々の活動が偏らないようにしている。	・活動内容を検討し様々な体験ができるようにしています。	・ミーティング等で活動を振り返りを行い、事業所内だけでなく戸外での活動なども積極的に取り入れていく。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・他事業や地域との関わりを持つことができていない。	・日々の活動をこなしていく中では他事業所との関わりを持つ時間を確保することができていない。また、会議等では他事業所と関わりがあるが交流するまでの発展には至っていない。	・地域参加型のイベントなどの情報を逃さず参加できるものには積極的に参加していきたい。また法人での活動を通し地域の方と交流できる場を設けられるよう検討していく。
2	・保護者会など事業所と保護者様の関わりはあるが保護者様同士での交流は少ない。	・保護者様同士、児童と保護者様などご家族様で参加できるようなイベントができていない。	・ご家族が参加できるようなイベントや行事の開催を検討しご家族間で交流することができる場を設けるようにしていく。
3	・活動スペースの確保。	・訓練指導室は物を置かず広く使えるようにしてはいるものの個別での活動やクールダウンができる場所はどうしても物を置く場所になってしまう。	・活動に必要な次ような物以外は別の場所に移動するなど児童が有効に使えるようにしておく。